

平成 30 年度 第 2 回原環センターセミナー
「放射性廃棄物処分の安全評価の基礎Ⅱ」
開催案内

1.開催の趣旨

放射性廃棄物処分は幅広い専門分野の知識・技術が総合され成立する事業です。したがって、それに関与する技術者・研究者は、自分の専門とする分野の知識のみを持つだけでなく、処分に関連する幅広い知識を持ち、全体を俯瞰できることが望まれます。各分野の研究者・技術者が各自の専門知識以外に放射性廃棄物処分のシステムがどのように統合して安全な処分を達成しようとしているかを俯瞰し、理解しておくことは重要です。

当センターでは、平成 28 年度に処分の安全評価の全体像を体系的に学べるように、朽山修先生著の「放射性廃棄物処分の原則と基礎」を刊行しました。この度、開催する第 2 回原環センター「放射性廃棄物処分の安全評価の基礎Ⅱ」は、本書の後半部分の内容を分かり易く講義するものです。

5 月 24 日に開催した第 1 回原環センターセミナー「放射性廃棄物処分の安全評価の基礎Ⅰ」では、本書の前半部分の内容を講義しました。両セミナーを受講すれば放射性廃棄物処分の安全評価の基礎を理解できる構成となっていますが、第 1 回セミナーを受講していなくても、第 2 回セミナーの講義をご理解いただくことは可能だと思います。

処分安全評価の知識を基礎から習得したい技術者・研究者向けの内容になっていますが、基礎をもう一度復習したい方にも最適です。多数ご参加いただければ幸いです。

受講者には、希望により、「放射性廃棄物処分の原則と基礎」をお渡しします。講義では直接使いませんが、予習等で疑問がある場合は持参してください。

2.開催日時

平成 30 年 7 月 25 日（水） 10:00～18:00（受付 9:45～）

3.開催場所

京都大学 東京オフィス 大会議室 A,B

東京都千代田区丸の内 1-5-1 新丸の内ビルディング 10 階

<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/tokyo-office/about/access.html>

JR、東京メトロ丸ノ内線「東京駅」直結

4.受講対象

放射性廃棄物処分の研究開発や事業にこれから参画しようとする技術者・研究者、既に参画している技術者・研究者で安全評価の基礎知識を身につけたい方。

5.受講定員

30 名

6.講師

公益財団法人原子力安全研究協会 技術顧問 朽山 修 氏

7. 講義プログラム

(第1回セミナーと第2回セミナーの講義プログラムと内容は別紙をご覧ください。)

講義4：放射性廃棄物の発生

- 放射性廃棄物の発生：概要
- 原子力によるエネルギー生産
- 核燃料サイクル
- 核燃料サイクルからの廃棄物
- 原子炉施設から発生する運転・解体廃棄物
- 研究施設等から発生する廃棄物
- アップストリーム工程からの廃棄物
- 事故廃棄物

講義5：放射性廃棄物処分の基本戦略

- 放射性廃棄物処分の安全原則
- 放射性廃棄物の処分に関連する IAEA 安全基準の要件と指針
- 規制免除、クリアランスと認可排出
- 放射性廃棄物の分類と処分オプション

講義6：放射性廃棄物の隔離と閉じ込めの達成

- 地球環境における物質の循環
- 地下水の動き
- 元素の固液分配と動きやすさ
- 放射性核種の移行挙動
- 閉じ込めのための地質環境と隔離の確保

講義7：放射性廃棄物処分のセーフティケースと安全評価

- セーフティケース概論
- 安全評価
- セーフティケースの構成要素
- シナリオ区分による不確実性に対する対策：処分システムの頑健性の確保

総合討論

8. 申込み方法・締め切り

別添の受講申込書に所定事項を記入して、電子メールで sanka@rwmc.or.jp までお申し込み下さい。

申込み締め切りは、平成30年7月18日（水）ですが、これ以前に募集定員に達した場合は募集を締め切りますのでご注意ください。

9. 受講料

原環センター特定及び特別賛助会員は2名、普通賛助会員は1名が無料で受講いただけます。

これを超えた場合は、受講料15,000円/名となります。受講申込書受領の電子メールで振込口座名をお知らせしますので、7月18日（水）までに受講料をお振り込みください。受講料の振込が確認されると申込み完了となります。請求書、領収書が必要な場合は申込書にご記入ください。領収書はセミナー当日にお渡しします。

なお、申し込み締め切り前に受講をキャンセルした場合は、受講料を返却いたします。

10.問合せ先

(公財)原子力環境整備促進・資金管理センター

企画部: 藤原(03-6264-2206) 又は吉澤(03-6264-2205)

電子メール: sanka@rwmc.or.jp